

## 第9回 予算決算委員会

令和6年7月10日（水）	開会 10時00分
5階 第1委員会室	閉会 10時29分

午前10時00分 開会

### ○委員長（棚町 潤君）

皆さん、おはようございます。

改めて、第9回予算決算委員会を始めたいと思います。

今日はちょっと、16日に開かれるヒアリングの事前の説明ということで、皆さんにお集まりいただきました。

犬塚委員につきましては、所用のためちょっと遅刻しておりますが、またいらっしゃったら参加していただこうかなと思います。

では、順を追って説明させていただきますが、着座にて進めさせていただきます。

まずは今日のレジュメは、予算決算委員会の令和6年の中に入っております。

レジュメと言われましても、議題は事業評価についてと、その他となっておりますので、そちらはそんなに参考にされなくてもいいのかなと思うんですけど、今日の資料は、事業評価の中ですね。03予算決算委員会の中の事業評価の中の令和6年度の中に①、②があるんですけど、②の中に事業評価の調書などが入っておりますので、それを御参考にしていただければなと思います。

場所は皆さん大丈夫ですかね。また分からなければ言ってください。

その事業評価の調書の説明に入る前に、皆さんのところに、2週間ぐらい前に経緯書というのを送らせていただきましたが、お目通しいただいておりますか。メールにて送らせていただいていると思います。

まずちょっと事前にこれの説明をさせてもらった後、話を進めさせていただきたいなと思います。

今年の予算決算委員会の肝となるのが、事業評価に関して回答をいただくということだったかなと思います。回答をいただくというお願いを、副委員長と、それから、議会事務局長と議会事務局総務課長に同席してもらって、正村理事（兼）総務部長のところをお願いに行きました。

お話をさせてもらって、事業評価の回答書については、早く回答を作らせていただきますというお返事をいただきました。

作るに当たって、まず手始めに、昨年、事業評価した分ですね。令和4年度決算の事業評価をベースに、まず回答書を作成していただくことになっています。その回答書をいただいた上で、その内容について、修正できることは修正して、追加できることは追加して、令和5年の事業評価の回答書につなげていきたいという内容になっています。

回答書のもらえる時期については、市長査定の後、2月の初旬にはいただきたいというふうに申し出たんですが、これはもともと2月中旬に議会人事があるということで、何とか早めにいただき

たいということだったんですが、やはり議会資料の配付時期にしか執行部としては提出ができませんよということでしたので、来年は多分、僕、予算決算委員会の委員長ではないと思いますが、その旨、引き継がせていただいて、回答書は2月中旬の議会資料の配付時期にいただけることになるかなと思います。

というのは、やはり2週間ほど前に経緯書として送らせてもらったんですが、念のためにちょっと報告させていただきたいなと思ひまして、皆さんにお伝えしました。

この経緯書については、実は令和5年度の事業評価、令和5年度の「令和6年6月18日事業評価に伴う提言」というものの中に入れてありますので、ちょっと分かりにくいですけど。

令和5年度の中の⑥です。その中に、提言事項、経緯書、依頼文書、提言書というのが入ってます。

内容については、今、口頭で説明したとおりにかなと思いますので、御確認いただいて、詳細については内容を御確認いただきたいなと思います。

本年度の事業評価の評価対象項目については、先ほどお話しした令和6年度の②事業評価調書中の資料に書かれております。

評価項目をちょっと確認します。1番が危機管理課の防災資機材等整備事業です。2番が高齢福祉課の介護予防普及啓発事業です。

小項目が8項目ありまして、1番は防災資機材等整備事業、2番が介護予防普及啓発事業、3番が教育支援センター運営経費。ここまでが総務厚生学教委員会の事業になります。

4番が地場産品ブラッシュアップ事業、5番が災害防止森林整備事業、6番が市単側溝等道路改良事業になります。

ここが地域経済建設委員会の事業一覧になります。

再評価として2つあります。再評価の一つが、市民協働課の夢づくり市民活動補助金、再評価の2番が農林課の多面機能支払交付金事業。

その8事業のうち、委員会がテーマとしとるものに関しては、委員会で調査・研究をさせていただいておりますので、予算決算委員会として特別な資料は準備しておりません。

ただ、委員会のテーマとしては、ないものに関しては、予算決算委員会で補足の資料をつけさせていただいております。それが同じフォルダーの中にある事業評価資料というところに入ってます。

例えばですけど、1番の防災資機材については、防災倉庫の所在地及び物資、資材の備品状況ということで、はい。ここに防災倉庫の一覧と備品の一覧が添付してあります。

地域経済建設委員会では取り組んでいない市単側溝については、令和4年度要望書っていう「06-1」っていうのが書いてありますよね。

「06-1」と「06-2」が、2は皆さんが行かれてる地域要望。あれに関しては、各地区の要望というのはもらうと思うんですけど、他地区の要望というのは、多分、皆さんもらわれてないかなと思ってます。

こちらに関しては、全地区のものを網羅して、土木課からいただいております。

そのほかの事業についても、予算決算委員会がこんな、事業評価については、補足資料を入れさせてもらってます。

今回、8項目あるので、令和5年度分と再評価分が。

これを基にヒアリングをしますので、これはできれば確かに印刷されてきたほうが間違いないかなとは思いますが。

○8番（樋田翔太君）

評価のシートは結局どうなったんでしょうか。

○委員長（棚町 潤君）

シートは事前に送らせていただいておりますが、パソコンのほうに。もし必要であればもう一度送らせてもらいますが。

今後の予定ですけど、7月16日にヒアリングがありますので、評価調書と補足資料を参考にしていただいて、ヒアリングに臨んでいただきたいなと思います。ヒアリングをして、御自分でシートを作成していただいて、シートの提出期限が7月29日。

7月29日にシートを提出していただいたら、それを取りまとめさせていただきます。8月前半には事務局から皆さんのところに取りまとめた事業評価書を送らせていただきます。

それに基づいて、8月9日に議員間討議を行わせていただこうと思っております。毎年、点数が低い方と高い方と、自分なりのコメントをいただくということを、この議員間討議でやっておりますが、今年もそういったことはやらせてもらおうと思うんですが、ちょっとこれプラスアルファで皆さんにお願いなんですけど、例えば、他市の状況だったり、こうしたほうがいいという提案があれば、このときに具体的に御提案いただけたらうれしいなと思っております。

例えば、夢づくり市民活動事業については、豊田市のものがいいと思ってるんですけど、そういった他市のものでよい事例などがありましたら、この8月9日の議員間討議のときに御提案いただきたいなと思っておりますので、またよろしくをお願いします。

○14番（熊谷隆男君）

はい。

○委員長（棚町 潤君）

では、8月9日の議員間討議が終了して、また提言があれば取りまとめさせていただきます。9月17日の議会の際、予算決算委員会、第1回の委員会がありますが、ここで皆さんに御提示させてもらって、内容を御確認いただいて、9月27日の議会閉会日に一緒のところへ評価書を持っていかせていただきたいなと思っております。

○5番（柴田幸一郎君）

質問していいですか。

○委員長（棚町 潤君）

はい、どうぞ。

○5番（柴田幸一郎君）

前、議員間討議は2回やった覚えもあるんですが、今回は1回だけ。

○委員長（棚町 潤君）

8月9日にやって、例年ですと議会中に、9月17日にやるのが2回目に。

○5番（柴田幸一郎君）

それで、この9月17日の2回目の議員間討議からはもう変えることはできんと。

○委員長（棚町 潤君）

変えれますよ。大きな変更はちょっと難しいかもしれないですけど。

○14番（熊谷隆男君）

点数をそこで変えるとき、平均も全部変わるということになる可能性があると。

○5番（柴田幸一郎君）

点数は、もう8月9日で。

○14番（熊谷隆男君）

もうそこで変えられると、以降は変えられんっていうことやね。

○委員長（棚町 潤君）

変えられません。点数に関しては。

○5番（柴田幸一郎君）

8月9日の議員間討議を終えて、点数をそのときに変えるっていう感じですね。

9月17日は、コメントをちょっと変えるぐらいかな。

○委員長（棚町 潤君）

多分、点数に関しては、8月9日である程度フィックスしていくと思うんですけど、それに基づいて提言を作っていきますので、そのあたりも皆さんに。

一応、基本的には、今月中に正村理事（兼）総務部長から前年度の事業評価を参考にした提言書に関する回答というのが来ますので、そこでちょっとまた正村理事（兼）総務部長と打ち合わせして、どういう形がいいのかなっていうのをお話ししながら、提言につなげていきたいと思いたすので。

はい、14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

提言っていうのは、例えば、一人の人だけが出て、みんなの同調なのか、反対なのかは分からんけども、それでも提言、こういう意見があったという提言って出してくれるのか、そうやなくて、予算決算委員会の提言として意見集約をして、それで出すということなのか。

何でもかんでも、誰もが言ったやつが、こんなんが出ましたけどって行って市長のところへ持っていくということなら、そう議員間討議は必要ないような話になっちゃうと思うんやけど、するのなら、やっぱりそれを集約してやるということであれば、多少時間がかかる話かなと思うけど。

○委員長（棚町 潤君）

今のお話だと、もう少し討議の時間を設けたほうがいい。

○14番（熊谷隆男君）

というか、もし出ればね。提言でそういうことになったときには、予備日でも何でも作らないとあれなのか、その場で。

要はそのときに提言だけ聞くっていうのは、柴田幸一郎委員が提言をしたと。そのときに初めて聞くわけやな、この。事前っていうことではなくて。それについてみんなで討議をすると。思いついたような話でね。

まあ、ええんやないかぐらいの話で、予算決算委員会ではこういうふうな提言がありましたというのか、その中で柴田幸一郎委員からという名前を出すのか、一議員からというのか分からんけど、一議員からこんな提言も出ましたということで交付するのか。

それは委員の皆さんこういう意見っていうのが、みんな十何人出た意見は全部そのままっていうことになれば、その提言自体を否定するわけではないので、別に討議の材料にならなくなっちゃうんじゃないかと思うわけよ。

もし、出たことに対して、いや、これは違うやないかと、こう討議をして、これをどうしますかっていうふうなことの深掘りをしようとするところで、議員間討議が発生すると思うんやけど。

それをやるのなら、ある程度、提言を出すということであれば。それが、なかなかちょっと見えにくいんやないかなと。

俺は前回の8月何日かにやるやつの議員間討議の折には、次の9月何日につながる討議に向けての、提案に向けての、ある程度の前触れみたいなものやっておけば、ある程度また集約できるかなと思うけど、全く別個で提言だけをしては、提言について別って言われても、なかなか難しいんじゃないかなと思うんやけど。

でもまあ、委員長が個人的な意見でも何でも提言が出たらそれを伝えるというか、全く稚拙なものであっても、何でもが。

○委員長（棚町 潤君）

基本的には、せっかく予算決算委員会で意見を集約させてもらっておりますので、予算決算委員会として提言を出したいなと思います。

その上で、やっぱり意見集約っていうのは大切になってくるので、多分このスケジュール的に厳しいんじゃないかっていう御意見かなと僕は思ってるんですけど、ちょっと次のヒアリングまでにスケジュールをもう一度見直させてもらって、もう少し議員間討議ができる時間を設けさせてもらって、提言に関しても、皆さんの意見をいただけるような格好にさせていただくっていうことで考えさせていただこうと思いますが。

○14番（熊谷隆男君）

予算決算委員会の普通の決算認定は議事日程に入っとるわけやね。ほんで、終わった後で連絡事項でも、それから、多少その頃までに提言があればぐらいのやつを把握しとけば、別にみんなでそこで協議をしなくても、こういう提言が出てますぐらいの報告をしといてくれれば、17日の議員間討議ができると俺は思うんやけども。

何時までに顔だけ出して、こういうのが出されてますけど、提案がありますけどもってその場で言われても、なかなか難しいんじゃないかなと俺は。まあ、余分なことやけども、前もってある程度その提案すべきものがある人は、せめて項目だけでも教えてもらったらいんじゃないかなと。

○委員長（棚町 潤君）

分かりました。

そうですね。事前にそういうのを把握させていただけるのであれば、時間も短縮できますし。

○14番（熊谷隆男君）

何もないかも分からんしね。

○委員長（棚町 潤君）

そうですね。何もないこともあると思います。何もなければ、当然、提言する必要もないと思いますので、提言が絶対というふうには考えてないので。

では皆さんに、そういったものも含めて、ちょっと一度検討し直させてもらって、また、御提案させていただきます。

それこそ正村理事（兼）総務部長から来る昨年度の事業評価に対する回答なんかも参考にしたほうがいいのかなと思いますので、ちょっとそれに関してはお時間いただいて、提言をうまく取りまとめられるように配慮させていただきます。

○14番（熊谷隆男君）

もう開くことは簡単やけど、中が充実してないと、単純にやりましただけでは意味がないわけやし、なるべく充実させようとする。

○委員長（棚町 潤君）

分かりました。ありがとうございました。

11番 小木曾光佐子君。

○11番（小木曾光佐子君）

正村理事（兼）総務部長から出るのは、今月の末って言われましたよね。末までにうちは出さなきゃいかんでしょ、これ。事業評価シート。

それを見てどうのこうのって考えるなんて時間ないじゃないですか。理事（兼）総務部長のもらっても、見る時間も、それを見ながら比べてどうのこうのってできないので、それ意味があるのかなと。

それを参考ってという話を最後にされたんですけど、締切り後にそれが出とったら、参考にはならないじゃないですか。

○14番（熊谷隆男君）

令和4年度の事業は関係ないやろ。

○11番（小木曾光佐子君）

関係ない、そう。

○委員長（棚町 潤君）

そのほか、何か御質問は。

大丈夫ですかね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、調書と配付資料をぜひお目通しいただいて、7月16日のヒアリングに御参加いただきたいなと思いますので。

ヒアリングが9時からですね。16日午後2時ぐらいまでかかりますかね。お願いします。

では、これにて終了とさせていただきます。

ありがとうございました。

午前10時29分 閉会